

# 液化室だより

東大物性研究所 <http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/labs/cryogenic/>

## 新人講習会について

今年度も新人講習会を開催します。柏キャンパスで初めて寒剤や高圧ガスボンベ等を使用する人は、必ず受けなければならないものです。受講忘れの無いようご注意ください。

講習は内容により2種類に分けられており、適切な講習を修了しないと寒剤等の使用が出来ませんので、よく考えて受講する講習会を選択して下さい。

「寒剤利用講習」：寒剤や高圧ガスボンベ等を使用する人

「高圧ガスボンベ利用講習」：高圧ガスボンベのみを使用する人

※ 寒剤を使用するかどうか不明な方は、寒剤利用講習の受講を勧めます。

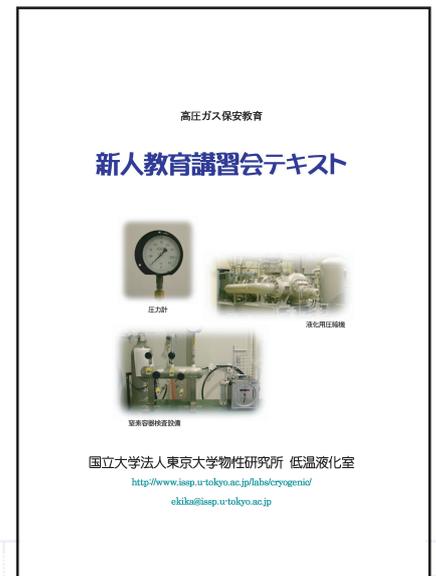
各講習会の詳細については、下記ホームページを参照して下さい。

[寒剤利用講習]

<http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/cryogenic/kosyu/>

[高圧ガスボンベ利用講習]

[http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/cryogenic/kosyu\\_gas/](http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/cryogenic/kosyu_gas/)



## ヘリウムガスの回収

最近のヘリウムガスの回収率は、70%から80%で推移しており非常に悪い状況です。

この回収率の悪さは、液体ヘリウムの供給価格上昇の最大の原因であり、利用者次第で良くも悪くもなるものです。また、回収率が90%を超えている機関では、供給価格が200円/Lをきっているそうです。柏キャンパスでも回収率が上がれば、価格を下げる事が出来ます。

2007年度のヘリウムガスの購入価格は、前年度と同じであることが先日決まったので、原料価格による単価の改定はありませんが、回収率の低迷が続くようであれば価格の見直しも検討する必要があります。現在、液化機のトラブルでの価格上昇が解消されつつある状況で、回収率の悪さによるさらなる価格上昇は避けたいと考えています。

新年度となり研究室のメンバーに変化があったと思います。この機会に是非実験装置のチェックや液体ヘリウムの使い方（移送の仕方など）を再確認し、細心の注意を払って使用して下さい。

ヘリウムガス回収の重要性！については、液化室だより第94号を参照してください。

<http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/labs/cryogenic/dayori/dayori.html#backno>